



# ナオト・インティライミ

旅を通して忘れてた感覚が呼び覚まされ、健康的に音楽を生み出せるように

デビュー前から世界各地を訪れ、表情豊かな歌声と抜群の音楽センスを武器に、圧倒的な存在感を放ってきたナオト・インティライミ。6年間にわたって目覚ましい活躍を遂げてきたが、2017年2月より再び約半年間の旅に出ることを決意。帰国後、その旅の様子を捉えたドキュメンタリー映画の公開をはじめ、コンセプトアルバムのリリース、そして47都道府県ツアーの実施と、以前にも増して精力的に動き出した彼に、今回の旅で得たことを語ってもらった。

—2016年は特に、リリース、フェス、ミュージカル、ツアー…と、凄まじい勢いを感じた1年でしたが、なぜこのタイミングで旅に出ることに？「デビューしてから丸6年間、ものすごいスピードで駆け抜けてきました。CDを沢山出させて頂き、テレビにも出演させてもらって…。ただ、19枚のシングルと8枚のアルバムを出してきたことは、ほぼ3か月に一度は何かをリリースしていて、つまり年中無休でずっとモノづくりをしているワケです。それでだんだん心の余裕がなくなってきてたんですね。自分が好きで追っていたはずの音楽に、気付いたら追われていて、このままではマズいと。確実に世間から飽きられていくし、すでに飽きられはじめてるかもと感じてました。10年後、20年後に、ちゃんとやっていたら飽きられるかっていう長い目で見た時、このリスクある選択は間違いないかなと思ったように思えるような決断をしたかったんですよ」。

—今まで走り続けてきた分、足を止めることに対する不安はなかったですか？

「流れの速い音楽業界で何カ月も旅に出るのは本当にリスクーだと、周りの大人には全力で止められました(笑)。でも僕の中では、旅に出ることのマイナスも理解した上で、今行くことに意味があると確信していたので、むしろこのまま、この



ペースでやっていくことへの不安の方が大きかったです」。

—あくまで前向きな決心として旅を選び、それが今回の映画化にも繋がったんですね。

「そう、どうせなら撮らせてもらえないかと有り難い話をいただきました。もちろん記録として映像に残るのは嬉しいことではあるんですけど、ただやっぱりそれが仕事になってしまっただけで本末転倒で。最初から僕は一人旅のつもりだったし、インプットのために行くので、向こうで何かやってやろうって気持ちは全くなかった。だから何の決まり事も設けず、ただただ僕の好きなように旅をして、それをカメラが追いかけてる感じ。下手したら撮れ高ナシってことも十分にあり得ました」。

—ナオトさんにとっての“旅”は原点回帰とも言えますが、今だからこそ新鮮な刺激になったことも多かったのでは？

「言葉にできないくらいあらゆる感情を動かされましたね。例えばアフリカの人は単純に歌が好きで、観客なんていないのに、ただ自分が歌いたいから歌ってるというシーンを何度も目撃したんですよ。しかもすごい気持ちよさそうに何時間も歌ってる。それを見て“そうそう、音楽ってこうだったはずじゃん”って。忘れてた感覚が少しずつ呼び覚まされていくようでした」。

—アイデンティティを表現するという本来の音楽の形を目の当たりにした、と。

「だから音楽が生まれるサイクルも、とっても健康的になりましたよ。《何かから感じる⇒インプットする⇒アイデアが生まれ形にしたくなる⇒形にする⇒多くの人に聴いてほしいからリリースする⇒より広く届けるためにテレビに出る⇒ツアーで直接伝える》——これが1つの流れになった。当たり前だけどこの分かりやすい循環を今一度見直せたのは、間違いなくこの旅のおかげです」。

—そんな旅を終えてリリースしたニューアルバムは、28曲という収録数からも溢れ出る創作意欲がうかがえます。

「もうね、アイデア渋滞(笑)。この止めどなく溢れるアイデアを効率良く形にするために、ワンルームに籠って“音と言葉の工場”のごとくレコーディングしました。アレンジャーとエンジニアを集めて、ゼロから一気に詰めていって2日で歌入れまで終わらせちゃう、みたいな。10曲ぐらいを同時進行で制作してたんじゃないかな？すごい面白かったし、力抜いて作れたし、あゝコレ



だなど。作品自体も、J-POPのカテゴリーに収まりきらない、というか収める気がない曲たちをちゃんと表現できて嬉しかったですね。旅人臭は色濃いんだけど、それを昇華して出来た歌モノたちもちゃんとグローバルな最新の音として仕上げられたと思います」。

—さらに自身初となる47都道府県弾き語りツアーも控えていますね！

「47都道府県を回りたいのも、弾き語りでもやりたいのも夢だったから、それを同時に叶えられて本当に嬉しいです。2018年からは、もう一度デビューするような気持ちなんですよ。だから新人のつもりでやっていくにあたっての、ご挨拶回りツアーです。旅で蓄えたものをこういうシンプルな形で始めるのは、新たなスタートとして相応しいと思うので、是非足を運んでいただきたいですね」。



New Album 『旅歌ダイアリー 2』 out now!!

★ 映画『ナオト・インティライミ冒険記 旅歌ダイアリー 2 後編』公開中!

★ 【こんなの初めて!! ナオト・インティライミ 独りっきりで全国47都道府県 弾き語りツアー 2018】

- 04月19日(木) サンポートホール高松 大ホール
- 04月20日(金) 松山市民会館 大ホール
- 06月08日(金) 鳴門市文化会館
- 06月10日(日) 高知県立県民文化ホール オレンジホール
- 08月30日(木) 周南市民文化会館
- 09月01日(土) 島根県民会館 大ホール
- 09月29日(土) とりぎん文化会館 梨花ホール
- 09月30日(日) 倉敷市民会館
- 10月12日(金) 広島化学学園 HBG ホール